



アニメの「探す」と「描く」 — 制作現場のAI活用調査

アニメ制作

AI エージェント

AI Mage (株)、(株)EQUES、(株)オー・エル・エム・デジタル

プロジェクト概要

- 日本のアニメ業界は、海外でも人気が高く、市場が拡大し続けている。
- 一方で、高い創造性と専門的なスキルが求められるため、慢性的な人材不足に直面している。
- そのため、AIがアニメーターの創作のサポーターとなり、「制作ツールのひとつ」として制作現場で使えるかの調査・実証を実施。

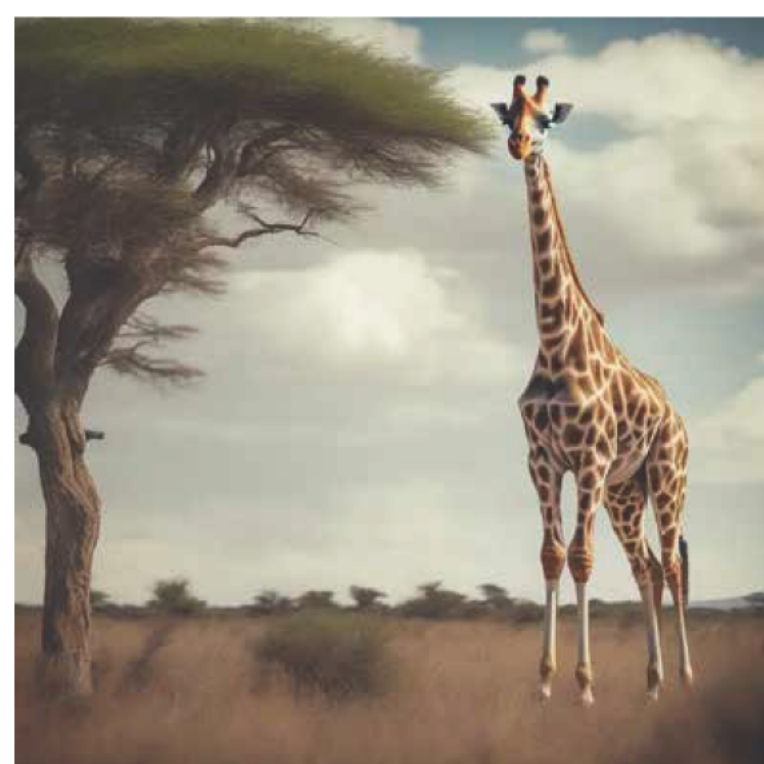
展示物紹介 「描く」AIと「探す」AIが体験いただけます。

EQUES

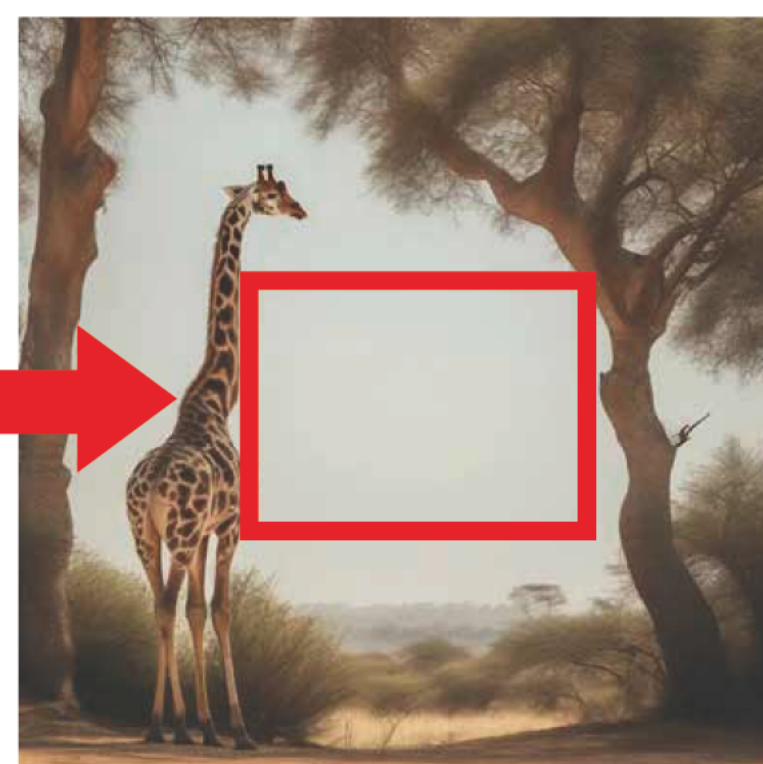
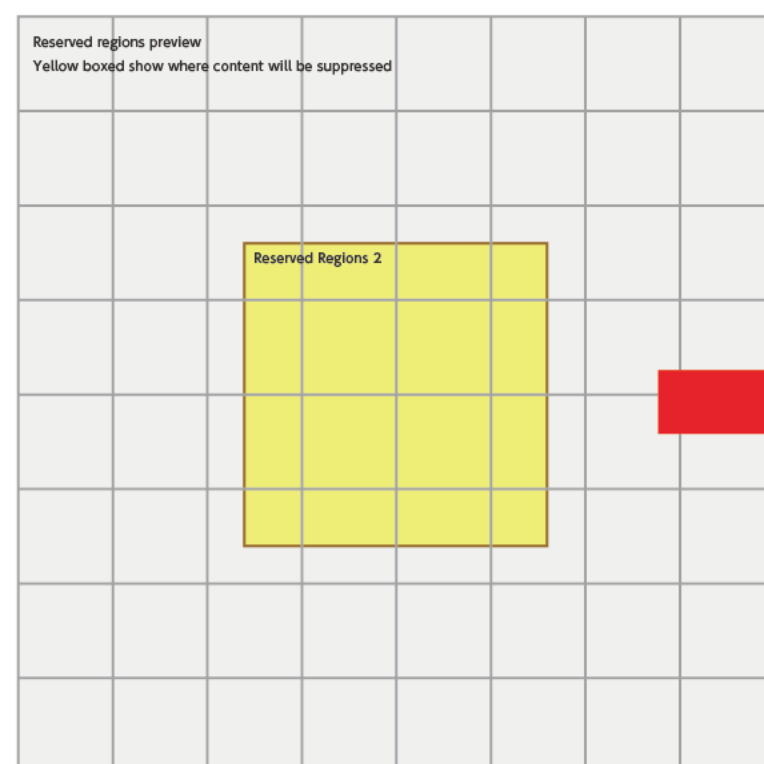
トップカンファレンス
ACM SIGGRAPH 2025
Posters 採択研究

「描く」AI - 描かない場所- を教える技術SAWNA -

一般的には画像生成AIは画面全体に自由に描くが、SAWNAなら指定した場所を背景や余白のまま残し、それ以外だけにモノやキャラクターを描かせることが可能。
そのため、あとから文字やキャラクターを入れる場所を確保しておきたいときに役立つ。画像生成AIの実用性を一段高める技術。



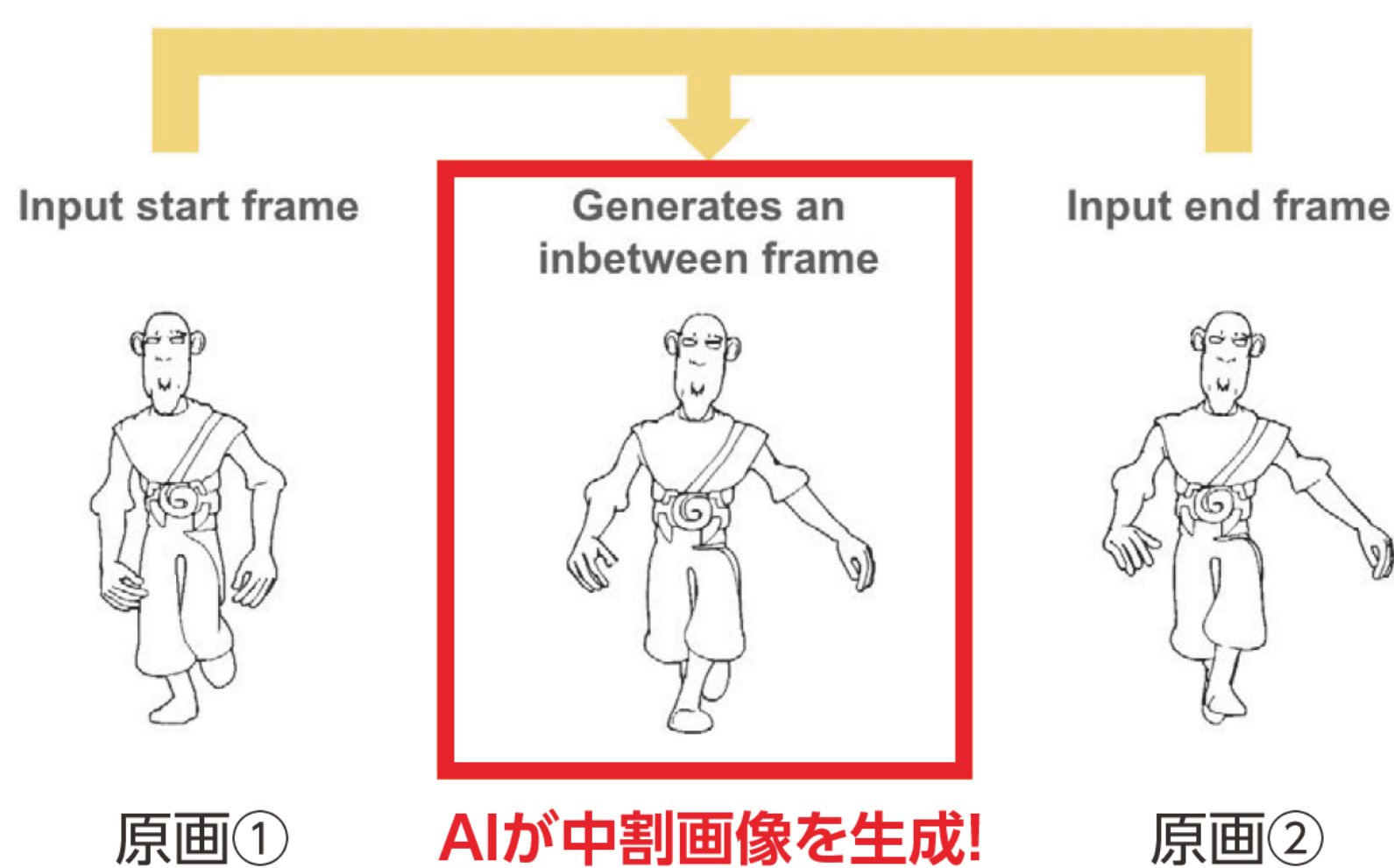
通常の生成結果



指定した箇所を背景や
余白のまま残しています。

「描く」AI - 中割を自動生成 -

アニメは、動きの始まりと終わりを描いた原画の間に、たくさんの中割を描くことで、なめらかに動いて見えるが、中割づくりには多くの時間がかかる。
そこで弊社は、始まりと終わりの原画を入力するだけで、**中割を自動で生成するAI**を開発。これにより、動画工程の作業負担を軽減。



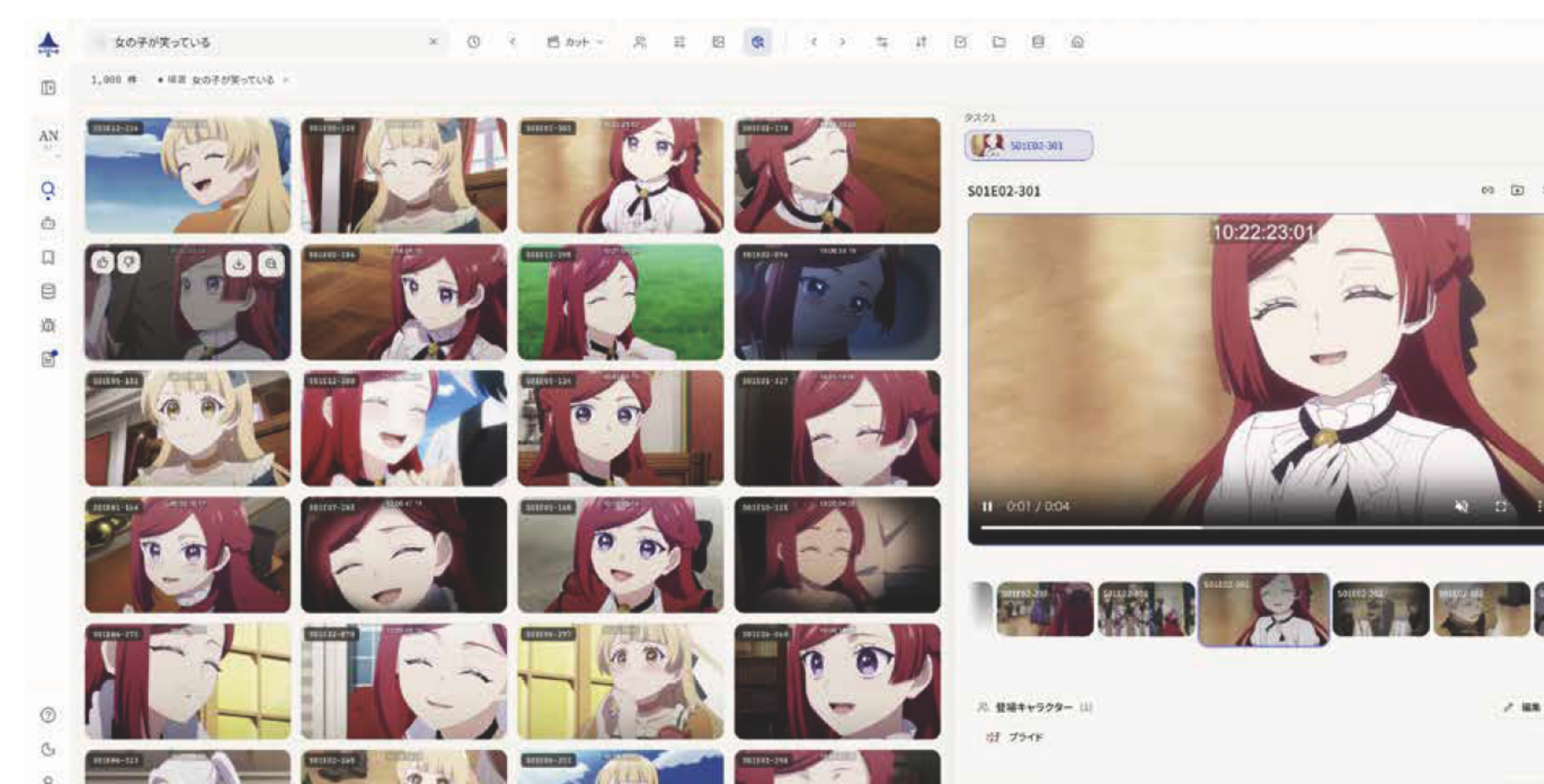
モデルは無料公開

AI Mage

「探す」AI - 埋もれた制作資料を“使える資産”へ -

アニメ制作で日々生まれる絵コンテや設定資料は活用されず死蔵されている。

自然言語や画像で作品アセットを直感的に検索できる「Mage Agent」を開発。18社以上・21作品・176名の制作現場で実証し、カット検索の時間を最大60%以上、資料整備の時間を99%削減。



例:女の子が笑っているアニメーションを自然言語で検索

今後の展望

2026年3月、**エージェント機能を加えた正式版**をリリース。
アニメ制作現場からライセンス事業の企画・監修まで支援範囲を広げ、現場に眠るアニメ制作データを「資産」に変えるべくユースケース拡大に取り組んでいる。



事業化フェーズ

フェーズ	基礎研究	応用・PoC	実証	事業化準備	商用化
TRL	TRL1-2	TRL3-4	TRL5-6	TRL7-8	TRL9

フェーズ	基礎研究	応用・PoC	実証	事業化準備	商用化
TRL	TRL1-2	TRL3-4	TRL5-6	TRL7-8	TRL9

プロジェクト実施期間	2025年度				AI Mage株式会社	株式会社EQUES
NEDOプロジェクト名	ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業／ データ・生成AIの利活用に係る先進事例に関する調査／ 個別業界全体における生成AIの利活用に係る先進事例の調査					
お問い合わせ先	AI Mage株式会社 HP : https://ai-mage.jp/ Email : info@ai-mage.jp		株式会社EQUES HP : https://eques.co.jp/			